

様式第7号（第21条関係）

番 号
令和6年6月30日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 佐賀市今宿町5番5号
団 体 名 NPO法人クラブサポート
代表者職・氏名 理事長・吉野徳親
電 話 番 号 0952-23-6231

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和5年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

-

令和5年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団 体 名 : 特定非営利活動法人クレブスサポート
- 2 事業実施期間 : 令和5年4月1日 から 令和6年3月31日
- 3 事業の背景 (※事業計画書から転記)

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像

佐賀県においてがんになる人、がんでなくなる人を減らし、がんになっても安心して暮らせる地域社会の実現を目指す。

4 事業の成果

①県民の便益にどのようにつながったのか

「がんサロン」には、がん患者・家族ら延べ500人が訪れ、体験を話し励まし合った。小中高校などに医師やがん体験者を外部講師として派遣する「がん教育」は9校で実施、子どもたちはがんについての正しい知識と命の大切さを学んだ。1団体当たり100万円を贈呈するがん対策基金は、佐賀大学医学部小児がんセンターを選び、大学側はAIで動く大型ロボットを購入し小児がんの子どもたちを癒すことができた。3年ぶりに発刊した佐賀県人による実名のがん体験記「がんとともに生きる佐賀」第二集は、同じく3年ぶりに開いた2023佐賀県がん患者大会で参加者に300冊を無料配布、がん患者たちは生きる勇気と希望を確かめ合った。

②佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ）

がん体験記第二集は、口コミや一部メディアの紹介により県外から問い合わせが相次ぎ、約40冊を個人や公立図書館に寄贈した。

- 5 寄附金活用事業実績 : (別記1)
- 6 次年度繰越額活用見込み : (別記2)
- 7 寄附金活用額 : (別記3)

(別記1) 寄附金活用事業実績

○寄附金を活用して行った事業 (GCFを行った場合は、GCF名とその内容を記載)

事業名	具体的な事業内容 ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所	事業費の 支出金額 [単位: 円]	うち寄附金 活用額 [単位: 円]
①がんサロンの運営	①がん患者・家族を地域で支えるため情報交換と交流の場を提供 ②佐賀市(4カ所)はじめ小城市、上峰町、有田町、伊万里市の計8カ所でそれぞれ毎月1回実施 ③各所に相談員(看護師経験者)、ピアサポーターらを配置、自由な空間を提供し、がん治療や生活上の不安・悩みなどについて相談にも応じた。	○佐賀市がんサロン「みずがえ」(毎月第2日曜日 15:00~17:00) 佐賀市、溝上薬局ビル ○お寺がんサロン「浄照寺」(毎月第1日曜日 13:30~15:30) 佐賀市高木町、浄照寺 ○小城がんサロン「まちなか」(毎月第3木曜日 13:30~15:30) 小城市 ゆめプラット小 城 ○上峰がんサロン「とっころーと」(毎月第4日曜日 13:30~15:30) 上峰町前牟田、馬場邸 ○有田がんサロン「クローバーの会」(毎月第2土曜日 13:30~15:30) 伊万里有田共立病院 ○伊万里がんサロン「ひだまり」(毎月第1金曜日 13:30~15:30) 伊万里市。山元記念病院 ○天神がんサロン「LC」(毎月第3土曜日 13:30~15:30) 佐賀市、IK天神ビル ○地域交流がんサロン「精(しらげ)」(毎月第2土曜日 13:30~15:30) 佐賀市 サロン精	2,820,587	2,820,587
②子どもたちへのがん教育授業の実施	①医師やがん体験者を外部講師小中高校など学校現場に派遣して子どもたちに正しいがんの知識や命の大切さを学んでもらう ②県内 ③県教委と連携して事前の募集を行い、学校側の希望に沿った講師を選び、派遣した。これに先立ち、個人やグループ別に講師候補を集め、トークの練習など実地指導もした。	①11月4日②佐賀市医師会立佐賀看護専門学校 ①11月21日②武雄市川登中小 ①12月6日①11月24日②神埼市千代田西部②小城市岩松小 ①12月8日②佐賀市循誘小 ①12月12日②大和特別支援学校 ①12月14日②武雄市山内中 ①1月16日②伊万里高 ①1月17日②唐津商業	1,454,120	1,454,120
③2024佐賀県がん患者大会の開催	①がん患者によるがん患者のための集まり ②がん患者とその家族 ③佐賀大学医学部腫瘍内科教授・木村晋也先生による特別講演で「免疫療法」について学び、Azバンドやゴスペルの音楽を楽しんだ。	①11月11日13:30 ②佐賀市アバンセホール	1,042,048	1,042,048
④がん対策基金の贈呈	①がんに関する学術的研究や市民活動に対して資金支援 ②大学、医療機関、NPOなど ③1団体あたり100万円を贈呈	①11月11日 ②佐賀大学部附属病院小児がんセンターに100万円を贈った	1,791,960	1,791,960
⑤がん体験記「がんとともに生きる佐賀」第二集の発行	①がん患者とその家族に生きる勇気と希望を与える ②新聞等を利用して佐賀県人による実名のがん体験記の募集を行い、27名のがん体験記および5名の医師による「医療現場からの声」を収録した。非売品。	①10月発行、1200部印刷 ②佐賀市	2,362,766	2,362,766
⑥がん情報Webサイトの運営	①ホームページによる当法人活動の全国発信 ②保守管理と更新によって最新の情報を発信している。がん教育の教材とするため、業者に依頼してがん教育現場の動画の収録もした。	①通年 ②佐賀市	1,058,380	1,058,380
計			10,529,861	10,529,861

(別記2) 次年度繰越活用見込み

○次年度に繰り越した寄附金の活用見込み

事業名	具体的な事業内容 (予定) ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所 (見込み)	事業費の 支出見込み額 [単位：円]	うち寄附金 活用見込み額 [単位：円]
④がん対策基金の 贈呈	①がんに関する学術的研究や市民活動に 対して資金支援 ②大学、医療機関、NPOなど ③1団体あたり100万円を贈呈	①未定 ②県内 例年、2団体に贈呈しているが、令和5年度は1 団体にとどまった。	2,560,778	2,560,778
計			2,560,778	2,560,778

(別記3) 寄附金活用額

【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B)		14,264,446
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	8,137,866
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	8,040,950
	前年度控除額(県事務経費)還付分	96,916
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	6,126,580

【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)		11,703,668
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	10,529,861
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	1,173,807
	返礼品等の調達に係る費用	993,294
	返礼品等の送付に係る費用	80,513
	広報に係る費用	0
	事務に係る費用	100,000

佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②)		2,560,778
-------------------------------------	--	------------------

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)

URL/<http://www.saga-ganjouhou.org/>